

停電でも安心 新サービス

断水マンションへ電源車 北海道電気相互

電気工事業の北海道電気相互(札幌)は今年から、停電で電動ポンプが動かずマンションが断水した場合、電源車が駆けつけて電気を供給する新サービス「電気の家配便」を始めた。

マンションの給水方式には水圧を利用する「直結式」と、電動ポンプで各部屋に給水する「受水槽式」がある。受水槽式は停電すると電動ポンプが稼働せず断水し、昨年の大規模停電時も札幌市内で問題化した。

サービスでは、断水した場合、200馬力の発電機搭載の電源車が向かい、3〜

4時間ポンプを動かし、各部屋で浴槽やポリタンクなどに水をためてもらおう。電源車は計6台あり、1日最大で計36棟回れるという。

対象は札幌近郊で24時間態勢で対応する。マンション管理会社やオーナーとの年間契約で、基本料金は1戸当たり月額9800円。このほか、1回の出勤につき燃料費などが別途かかる。

同社は「マンションだけでなく、病院や介護施設など幅広く活用してもらえれば」と話す。

(佐々木肇)